

エルゼビアジャパン株式会社 | 大学研究力強化ネットワーク・大学ランキング指標タスクフォース

8月29日（火） 15:15-16:45 中会場B（5階）

大学が強くなるための研究指標の活用 ～“Atsumi”でみるヘルスチェック～強くなるための研究指標の活用

エルゼビアは、科学研究費助成事業・特別研究促進費 研究力分析指標プロジェクトに参加しています。本プロジェクトの研究成果は、6月の報告会で発表され、大きな関心が寄せられています。

本セッションでは、プロジェクトリーダーの自然科学研究機構の小泉周特任教授に、報告会以降の新しい展開についてお話いただきます。また、大学の皆様からのご関心が特に高い人文社会系指標に関して、一步踏み込んだ議論ができるように、国立歴史民俗博物館・研究部の後藤真准教授をお招きしています。エルゼビアからは、本プロジェクトで使用されているScopusとSciValについてご案内します。

オーガナイザー



清水 毅志：エルゼビア・ジャパン株式会社 リサーチマネージメントソリューションマネージャー

米化学メーカーのデュポンを経て、2000年にエルゼビアに入社。ライフサイエンスやエンジニアリングを含むほぼ全てのデータベース製品で、大学から政府機関や企業まで全マーケットの営業を担当。

2012年よりリサーチマネジメント製品に専従。

医科学修士（放射線生物学専攻）

講演者



小泉 周 : 自然科学研究機構 研究力強化推進部 特任教授 (統括URA)

1997年慶應義塾大学医学部卒業、医師、医学博士。2002年米ハーバード大学医学部・マサチューセッツ総合病院・ハワード・ヒューズ医学研究所のリチャード・マスランド教授に師事。07年自然科学研究機構生理学研究所の広報展開推進室准教授。09年文部科学省研究振興局学術調査官(非常勤)も兼任。11年科学技術振興機構科学コミュニケーションセンターフェロー(非常勤)も兼任。13年から現職。



後藤 真 : 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 研究部 准教授

博士(文学) 専門は人文情報学。特に人文学・歴史学の研究方法に則した資料のデジタル化と、データの発見手法などを研究する。また、最近では人文学の成果の出方についてその特性をもとに、その手法の可視化や分析方法の検討も行っている。近著として「総合資料学の射程と情報基盤」(国立歴史民俗博物館編『総合資料学の挑戦』、吉川弘文館、2016) など



恒吉 有紀 : エルゼビア・ジャパン株式会社 リサーチマネージメント ソリューションマネージャー

医療系臨床検査機器会社にて技術営業およびマーケティングを担当。エルゼビア・ジャパン株式会社入社後、種々Scopus(スコパス)、Embase(エンベース)等データベース担当やマーケティングを経て2013年より現職。大学のほか企業マーケットを担当。最近の著作「エビデンスデータからパートナーやキー・オピニオンリーダー候補を選定する ～論文情報を分析して新市場を開拓する～」

http://doi.org/10.18919/jkg.66.9_480

ORCID ID 0000-0003-2317-0080、CiNii ID 9000018986250